



6月29日、抜けるような青空が広がり、時折穏やかな南風が吹く絶好のコンディションの下、第38回人間ばん馬大会が開催されました。

7人曳き決勝レースでは、名馬アキタホマレが圧勝。第二障害を一腰でクリアし、力強い末脚でライバル人馬を突き放す走りに、会場を埋めた観衆から大歓声が上がりました。2着には健在ぶりを発揮したカイリキオーオービー（美幌）が食い込み、2連覇の期待がかかったカノコレンゴーは4着に沈みました。

続く5人曳き決勝レースでもアキタホマレが優勝し、2冠を達成しました。先行する1番人気のカツヤマックスを最後の直線で抜き去り、そのままゴール。馬主の八川誠さん（秋田）は「昨年の反省を生きし練習量を増やして臨んだ大会。7人曳きで最高の勝ち方ができ、流れをつかんだ。本当に嬉しい」と喜びをかみしめていました。

